

令和6年度

PTA 活動報告

向日が丘支援学校 P T A

活動日：令和6年7月、9月、11月

作成者：令和6年度本部役員

京都府 PTA 指導者中央研修会

日程：7月9日（火）

場所：京都国際会館

基調講演

テーマ「保護者と学校、どちらも喜ぶ PTA へ」

花園大学 社会福祉学部 児童福祉学科教授

滋賀県子ども若者審議会 会長

令和6年度 滋賀県立石山高等学校 PTA副会長

炭谷 将史 氏

「自分の近くに座っている人と話をしてみましょう。」という時間が設けられ、「今日のお昼は何を食べましたか？」「どちらから来られましたか？」などのテーマで、ほかの参加者と会話したりと、和やかな講演でした。

近年よく耳にする「PTAは必要なものか？必要でないものか？」についてのお話もありましたが、講師自身がPTA副会長として、皆がやりやすい方法で、大人のサークル活動の様に楽しみながら活動する姿を子に見せることを目指しながら、PTA活動について模索していらっしゃるお話は、共感できる部分が沢山ありました。

マイナスのイメージでとらえがちなPTAですが、私自身が実際に役員を経験して感じることは、さまざまな保護者と知り合うことができ、子育ての悩みを共有できた時間がとても有意義だったということです。

つい、「PTAが必要か、必要でないか。」という議論になりがちですが、「無理をせず、楽しみながら活動する方法」の議論を今後も続けながら、この先もPTAが存続していくことに期待します。



鴨沂高校 文化祭訪問 日程：9月5日（木） 場所：京都府立鴨沂高等学校

鴨沂高校は京都御所のそばにある歴史ある学校です。

そんな鴨沂高校の文化祭では、京都府内の府立高校や特別支援学校の生徒による製品が毎年販売されており、向日が丘支援学校もそのうちのひとつです。

各校の製品は、PTAバザー・マルシェコーナーで販売されており、今年は、お茶、キーホルダー、陶器類といった様々な製品が並び、向日が丘は、竹メモ・小皿・お箸などを出品していました。（※写真）

会場でお忙しく活動されていた鴨沂高校PTAの方々に、製品販売のお礼をお伝えさせていただきました。

今後もこのような交流が続いていくことに期待したいと思います。



第1回避難訓練 見学 日程：9月30日（月） 場所：学校

地震発生後、2階窯業室で火災が発生したという想定での避難訓練で、ヘルメットや防災頭巾を装着した児童生徒らが、1階はエントランスホールや各階エレベーターホールそばのスペースに1次避難し、人数確認や名前シールの貼付、ヘルメットや防災頭巾装着の確認を行いながら次の指示まで待機しました。

この日は【水平避難】の訓練ということで、次の指示で、3階バルコニーや、1階のエントランスホールへ2次避難しました。

仮設校舎は元々病院だったことから、災害時も建物が倒壊する可能性は低く、火災発生時には防火扉の正しい使用により、身の安全を確保しやすいとのことのお話でした。訓練後は消防署の方の講評をお聞きし、PTA役員から気になったことを学校にお伝えしました。



※3階バルコニーへ続く入り口の段差がスロープ状に改善されていました。



※3階バルコニーへの2次避難の様子



第2回避難訓練 見学 日程：11月8日（金） 場所：学校

今回も地震発生後、2階窯業室で火災が発生したという想定で避難訓練が始まりました。

1階ではエントランスホールや各階エレベーターホールそばのスペースに1次避難し、2次避難の指示で、非常階段を使って1階へ降り、東西にある非常口から東側駐車場と西側駐車場に分かれて避難しました。

今回は、階下へ降り、最終的に屋外へと避難する「垂直避難」訓練でしたが、避難に要する時間が想定よりも早かったそうです。

訓練の積み重ねの成果か、児童生徒は落ち着いて避難していました。

今回も訓練後、PTA役員から気になったことなどを学校にお伝えしました。



【写真】

※ 2次避難の指示で、1階東側の非常口より東側駐車場へ向かう児童生徒らの様子

